

芸どころを持つ長浜の人々の 玄人並みの目がこわい

——振付師・市川升十郎さんに聞く——

きき手 吉田 精一

題々丸 負担任

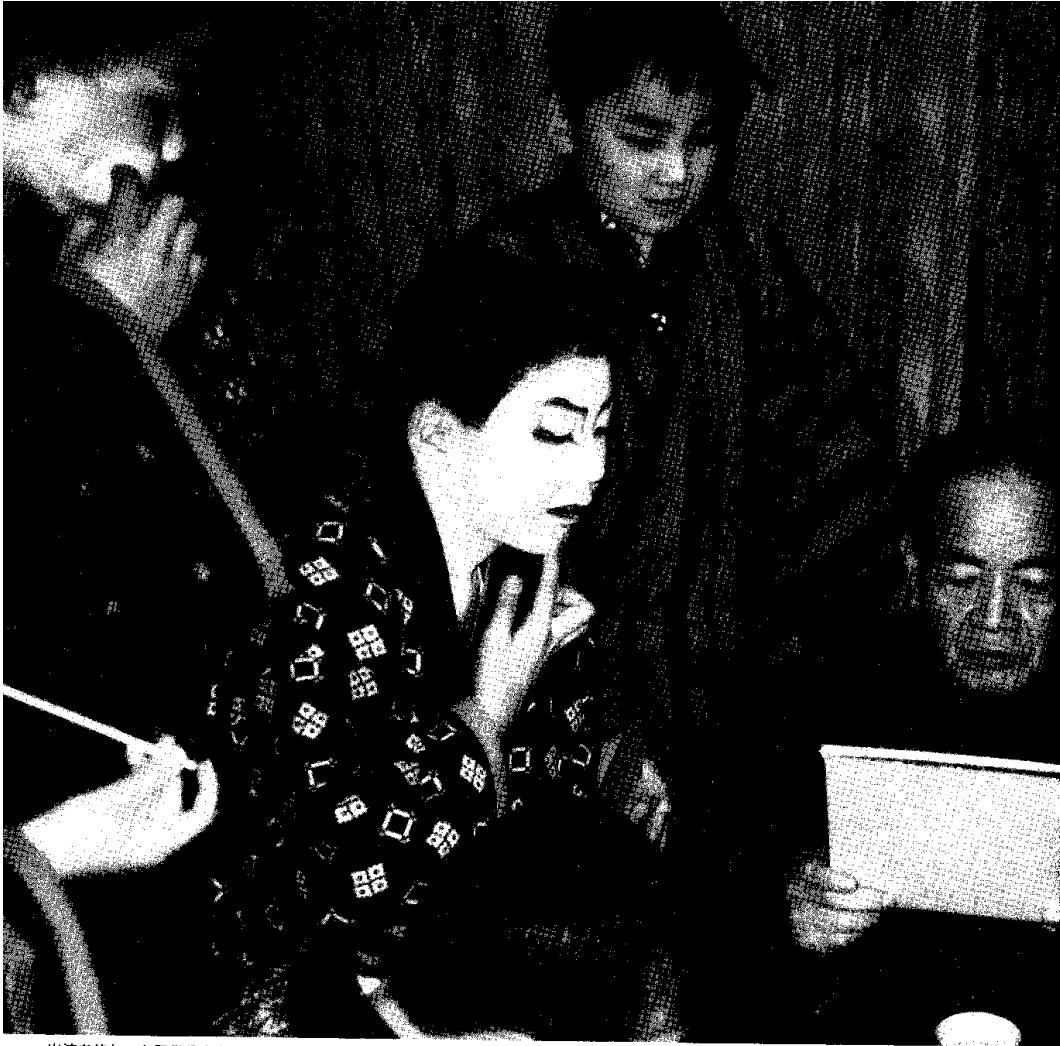
師匠お久しぶりです、お元気で何よりです。

早速ですが師匠はお若い頃、長浜に来られた事があると聞きましたが。

私が二十歳にならない昭和の初期に、地方巡業の歌舞伎の一座でよく来ました。長浜は秀吉ゆかりの土地で「太功記十段目」を出すことになり、十次郎の大役を初めてやらせていただいた思い出の土地です。町を歩いていると、頭の前額さかやきをそり、まゆ毛をそつた少年たちに出会い、不思議に思って尋ねると、氏神の祭りで曳山の子供歌舞伎に出演した子供たちであると聞き、歌舞伎の盛んな土地であることを聞かされておりました。

戦後は市川少女歌舞伎を指導しておられたのですね。

郷里の豊川市で十二歳を年長に、少女たちに「けいこ」として踊りを教えることが始まりで、やがて歌舞伎の世界にまで彼女たちの芸域を広げさせていくことになり、二十四年に初の発表会を開きました。二十七年には浜松市の浜松座で長期講演をやり、これがきっかけで十代目市川団十郎に認められて



出演を終った子供役者たちの一人ひとりに、寸評をしたためた色紙を読み上げながら手渡す市川さん

「市川」の名を許され、三十五年頃までは東京、大阪、京都、名古屋での公演に統いて全国各地の巡業も重ね、本格的な正統歌舞伎一座として認められました。

私も当時、東京・明治座で見ましたが。当然のことですが、いつまでも子供では済まなくなり、三十七年、東京講演後は劇場出演を中止し、社会福祉事業にだけ出演し、それぞれ家庭人、踊りの師匠として活躍しています。

私も各地の若い人たちに呼びかけ、研修会を開き、歌舞伎の真髄を一緒に勉強し、本格的な演技とその心を教え、伝統歌舞伎の火を次の世代に継承してもらおうと努力しています。

五十年頃から各地の素人芝居の指導にまわっておられます。が、長浜に来ていただくようになったのは。

若い頃、一座に居た吾妻太夫等の紹介で度々誘いを受けましたが、劇団の公演で忙しく、おことわりしていました。五十八年に孔雀山によせていました以来、毎年楽しみに情熱を燃やして指導させていただいてます。

今では、長浜曳山祭伝承のために大事な指導者の一人ですが、一口に云ってご苦心は。何と云っても長浜には伝統があり、古いしさたりが文化財として生きております。折り正直に舞台での芸を子供たちにやっていたいたくため、努力しています。あの限られたせまい舞台で歌舞伎の大芸題を子供たちに演つ

曳山まつりナゼナゾ事典

解答：恩田 索

(曳山まつり総担当)

Q1 なぜ男しか曳山に上がれないの。いつだれが決めたの？

現代の常識から見ると矛盾したことを、伝統を崩さずにやっているから有名な民俗文化財なんです。男しか上がれないのは、男尊女卑の時代の伝統を受け継いだもの。なぜと問わってもこります。大相撲でも、森山前官房長官が結局内閣総理大臣賞授与を断られたでショ。あれと同じです。

Q2 曳山の彫刻は地元でつくられたの？

十三基の曳山の一つ、常磐山の彫刻を紹介すると、舞台正面の「大虹梁」の上には、柿やびわ、ぶどう、ざくろなどの果物を描いた木彫が飾られています。楽屋背面の欄間に刻まれた唐獅子や亭の桟、梁の木彫にもすばらしい作品が飾られています。残念ながら作者は不明ですが、天保時代、常磐山の山組町内に早瀬右内守次という彫刻師がいて、大通寺や彦根城天守閣の彫刻を彫った記録が残っています。

高欄にある象嵌の飾金具は、膳所藩の名工奥村菅次によって彫られたもの。他の山組の飾金具も国友や奥村師の彫金師などによって

Q5 子供役者を選ぶ基準は何？ 立候補すればできるの？

その山組内の適齢男子、山組から出場依頼し回る親様の心では無事努まるか、途中で病氣して迷惑をかけないか非常に心配でしょう。立候補も結構です。山組の知人を通じ申し込みで置くのもよいでしょう。借り役者と言ふ方法もあります。

Q6 行政を含め、地元企業がまつり当日を休日にする方法は？

現に松宮市長さんもその気持です。市長さんや会社の社長さんの鶴の一声で休日にして下さい。

Q7 見物客本位ではないのでは……？

見物客本位のが市民会館の観劇会です。降ろうが晴れようが、楽に腰掛けて観覧で



北国街道を渡御する神輿

彫られた立派なものがたくさんあります。

Q3 昔は明かりをどんなものでとったの？

皆さん「能」を御存知でしょう。それをお方から、夜にかけて野外で催すとき、「薪能」と言いますが、舞台近くで、カガリ火（篝火）燃し、その明かりで能を浮き出し、幽玄の世界をかもし出しますね。素敵な演出ですね。曳山には燈籠に蠟燭又は、火屋に蠟燭を立てました。今常磐山の山倉に欄干に立てる火屋（ガラス製）が残っています。明治頃の貴重な製品です。

Q4 曳山の通り道、今と昔でちがうの？

各山組から八幡宮へ向かう四月十四日の



Q9 しゃぎりはいつ頃からあるの？ その新曲は？

各地の神社では、五穀豊穣を祝い、神前で猿楽が奉納されていました。これが、時代が降りて、能楽、能狂言、歌舞伎、狂言と受け継がれていったものと考えられます。

山車も、猿楽を演ずる簡単な移動舞台から亭がつき、飾金具や木彫、見送幕、胴幕などが順次加えられて今の形になったのですヨ。

Q10 裸参りでガラスを割る光景が時々あるの？

そうですが、警察沙汰になつた事はあるの？



登り山は、大手通りから南の組が北国街道の札ノ辻（黒壁の角）から、北の組が神戸町通りの一八屋角（びわこ銀行の角）から、それぞれ大手通りへ入り、宮町通りを経て八幡宮へ向かいます。ただ、最近は電柱やアーケードの関係で、山組によっては北川筋や旧国道八号線を通る所もあります。電柱っていやですね。

十五日の本日は、一番山から順に宮町通り大手通りを経て、お旅所へ。このコースは、昔も今も変わりません。

